園だより



No.11
令和8年11月24日
皆野町立皆野幼稚園
http://www.town.minano.saitama.jp/kinder/



『子育ての極意は引き算にあり』





朝の寒さが段々厳しくなる中、子供たちは元気に登園してきています。職員室で動物パペットを手に待ち受けていると、抱き着いて顔を摺り寄せる子やエサをあげる声掛けをする子もいます。中には、「この中に、園長先生の手が入っているんでしょう？」と、どちらとも言えない神妙な面持ちの子もいたりして、子供たちの健康観察を兼ねながら毎朝のふれあいを楽しんでいます。

その後、部屋で朝の支度を済ませると、園庭に出てきて好きな遊びが始まります。その中でも人気の遊具はというと、二つしかない「ぶらんこ」です。いつも囲い柵の周りには順番待ちができるほどです。そして、聞こえてくるのが、

『1・2・3…10 おまけのおまけの汽車ポッポ ポ～っと鳴ったら替わりましょ ポッポ～』

という数え歌です。これは、絵本「ノンタンぶらんこのせて」に出てくる一節で、交替するときの約束の歌として、子供たちの間では定着しています。

また、砂場遊びの様子を見ていると、シャベルや容器が足りない時には「貸して！」・「いいよ」など、必然的に交流が始まります。

こうして考えてみると、数が足りないことは決してマイナスではなく、むしろ仲間同士の関係性が広がっていくことにつながります。私たち大人は、子供のためにとの思いから、道具や材料などは数をそろえて不自由のない状況を整えてあげようと思いがちですが、足りない環境の中で「どうしよう？」という問題を、子供たち自身から引き出せることの大切さを忘れないようにすることが必要かもしれません。

あの「椅子取りゲーム」のように、足りない状況から生まれる楽しさは、まさにイコールにはない引き算の妙と言えるでしょう。子育ての極意は、引き算にあり！



まちのおんがくやさんコンサート 『こどもうたまつり』感想

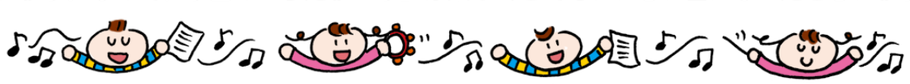


10月31日(土)に開催された、まちのおんがくやさんによる「こどもうたまつり」では、子供たちは体を揺らしてリズムを感じ取ったり、手遊び歌に参加したりしながら、歌のもつ魅力を思う存分味わっているようでした。たくさんの感想をお寄せいただき、ありがとうございました。

◉コンサートを観るのは初めてでした。知っている歌もたくさんあり、最後まで集中して楽しむことができました。家に帰ってからも「しゃぼん玉がきれいだった」と大興奮でした。

◉聞きなじみのある音楽から、初めての手遊びなど、子供たちも皆楽しむ様子が見られて、良い時間を過ごすことができました。音響と一緒に生のピアノ演奏があったのも良かったです。我が子は「うたまつりのコンサート、楽しかったあ」と何度も言ってきます。8か月の子でも、たくさんの音楽に刺激されて楽しんでいました。

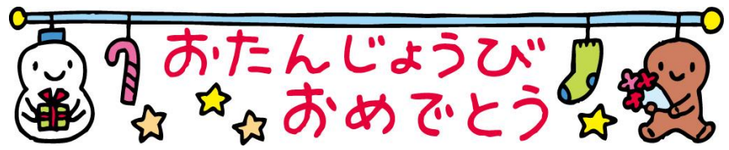
◉息子は、家族に「今日は来てくれてありがとう！楽しかったね♪」と嬉しそうに言っていました。家でお風呂に入っている時、必ず毎回一緒に歌を歌いながら入っているので、歌が好きなんだなあと思います。なので、今回の「うたまつり」は楽しくとてもいい思い出になったと思います。



12月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
	1	2 英語であそぼう （ 中・長）	3 秩父夜祭 休園	4	5	6
7	8 誕生会	9	10	11 前日準備 帰預かり保育なし	12 おたのしみ会	13
14 振替休業日	15	16 英語であそぼう （中・長）	17 クリスマス会	18	19	20
21	22 ※短縮保育	23 給食本日まで ※半日保育	24 ２学期終業式 帰預かり保育なし	25 冬季休業 預かり保育	26	27
28 冬季休業 官庁仕事納め 預かり保育	29 冬季休業	30 冬季休業	31 冬季休業			





4歳になります
今月はいません

5歳になります
１ 名

6歳になります
１ 名

保育目標

「こんな姿に育ってほしい」「こんな経験をできるように」という“願い”“目標”や“計画”を大切に、子供たちの保育をしています。

年少　第４期（１２・１・２・３月）
- 安定感をもって友達と遊び、いろいろなことに興味をもつ。
- 基本的生活習慣が身につき、自信をもってのびのびと生活や遊びをする。
- 進級することに期待をもつ。

年中組は、第８期（１１・１２月）継続

年長組は、第１３期（１１・１２月）継続

～少し気になること～

子供たちの通園カバンをみますと、ほとんどのカバンにキーホルダーがついています。個人のものがわかりやすいようについているものがほとんどですが、数が多かったり、大きすぎたり、扱いが困難なものも見受けられます。また、子供は急に動き、振りむいたりすることもあり、キーホルダーがお友達にぶつかったりすることもあります。扱いの困難さや、子供のカバンの大きさにそぐわないもの、明らかに遊び要素の高いもの等は、つけないようにしましょう。お気に入りのものを１個程度、安全なものをおすすめします。お子さんが「これがいいの」というものと、大人の基準が合わなくて困ることがあるかと思います。迷った時には、お声がけいただければ、ご対応します。（記名もお忘れなく）